

名古屋大学地震火山研究センター2014年度年次報告会

日時：2015年3月20日（金）10：00-17：20

場所：名古屋大学環境総合館レクチャーホール（環境総合館1階）

10：00 -14：00 研究成果報告第1部

セッション1：座長 寺川寿子（タイムキーパー：大間俊樹・会場係：鳥家充裕）

10：00 - 10：10 センター長挨拶

10：10 - 10：25 喜界島周辺の地殻変動およびプレート間カップリング ○伊藤武男

10：25 - 10：40 超巨大地震の発生域と海溝沿いの重力異常分布について ○古本宗充

10：40 - 10：55 アクロスによる桜島火山活動に伴う地下構造変化の推定 ○前田裕太

【休憩 10 分】

セッション2：座長 前田裕太（タイムキーパー：張 学磊・会場係：野々山泰幹）

11：05 - 11：20 2014 御嶽噴火以降の国・自治体の対応と問題点 ○山岡耕春

11：20 - 11：35 御嶽山へのGPS観測点の設置およびGPS観測の携帯通信テレメータ化について
○松廣健二郎・奥田隆・伊藤武男

11：35 - 11：50 南海トラフ地震の数値シミュレーションとプレート境界の強度分布
○橋本千尋

11：50 - 12：05 高品質な地震カタログに基づく地震発生や火山噴火に至る直前過程の理解
○加藤愛太郎

【昼食休憩 55 分】

ポスターセッション（コアタイム 13：00 - 14：00）

P1 Elastic and Inelastic deformation process in the Mid-Niigata Area, Central Japan

○Angela Meneses

P2 測地データに基づく糸魚川ー静岡構造線北部から中部における震源断層モデル

○寺谷尚子

P3 2011年東北地方太平洋沖地震後における東海地域の地殻歪異常

○野村晋一

P4 東北地方太平洋沖の2011年東北地方太平洋沖地震前の50年間の地殻変動(研究計画)

○黒川祐梨

P5 Construction of a three dimensional model for deformation zone evolution in the lower crust

○張 学磊

14:00 -17:20 研究成果報告第2部

セッション1: 座長 加藤愛太郎 (タイムキーパー: 安田健二・会場係: 横井大輝)

14:00 - 14:25 2014年御嶽山噴火に伴う地震メカニズム解の時間変化

○寺川寿子・加藤愛太郎・山中佳子・前田裕太・
堀川信一郎・松廣健二郎・奥田隆

14:25 - 14:50 御嶽山周辺域での地震観測点と運用状況について

○堀川信一郎・松廣健二郎・奥田隆・寺川寿子・山中佳子

14:50 - 15:15 糸魚川ー静岡構造線北部の地殻変動と2014年長野県北部地震(Mw6.3)との関連

○鷲谷 威・寺谷尚子・松多信尚(岡山大学)・西村卓也(京都
大学)・矢来博司(国土地理院)・水藤尚(国土地理院)

15:15 - 15:40 2014年長野県神城断層地震と活断層

○鈴木康弘

【休憩 10分】

セッション2: 座長 橋本千尋 (タイムキーパー: 吉本昌弘・会場係: 川崎悠介)

15:50 - 16:15 古文書を用いた南海トラフ超巨大地震の地震発生メカニズムの解明

○山中佳子

16:15 - 16:40 南海トラフ域での海底地殻変動観測

○田所敬一・安田健二・藤井越百・植村雄一・松廣健二郎

セッション3: 総合討論 座長 山岡耕春 (16:40-17:20)

18:00 - 20:00 懇親会(於 花の木)